

サステナブルなイベントのつくり方 (その2) ～ロンドンオリンピック・パラリンピックでの事例から学ぶ～

日時：2014年4月22日(火) 15:30～17:45(受付開始:15:00)

会場：関西学院大学 東京丸の内キャンパス ランバスホール

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10階 (JR東京駅八重洲北口より徒歩1分) 会場案内図:下図参照

主催：経済人コー円卓会議日本委員会
株式会社セレスポ
SGSジャパン株式会社

対象：CSR及びCSR関連部門担当者

定員：30名

参加費：無料

使用言語：日本語・英語

締切：4月18日(金)

ロンドンオリンピック・パラリンピックは、招致・準備段階・実施そして、実施後にまでわたる、すべての段階においてサステナビリティの概念を包括的に取り入れ、その取り組みを具体化させた初のオリンピック・パラリンピック大会でした。

大会実行委員会は、サステナビリティに関連するポリシーやプランを策定し、数多くの人々がその実現のために力を尽くしました。

このセミナーでは、サステナブルなオリンピック・パラリンピックの実現に向けた大会実行委員会と企業との関わりについて、企業を中心に紐解いていきます。

2回シリーズの2回目となる今回は、前回に引き続き、サプライチェーン、持続可能な食品という2つのテーマから大会実行委員会と関係する企業がどのような取り組みを行ったかについて、理解を深めます。

後半では、サステナビリティという観点から求められるボランティアの姿についてご紹介します。

さらに、メガスポーツイベントと人権というテーマから、企業に期待される役割について、リオデジャネイロオリンピックにおける方向性も交えてご説明します。

多くの方のご参加をお待ちしております。

会場ご案内図



プログラム

- | | |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 15:00～15:30 | 受付 |
| 15:30～15:35 | 開会挨拶 |
| 15:35～16:25 | ロンドンオリンピック・パラリンピックでの事例紹介 ※ビデオメッセージ
・サプライチェーンとサステナビリティ
元ロンドンオリンピック・パラリンピック組織委員会 (LOCOG) 調達部長
ジェリー・ウォルシュ氏 (Gerry Walsh)
・持続可能な食品
ロンドン市フードプログラム プリンシパル・ポリシーオフィサー
ジョナサン・ポウリング氏 (Jonathan Pauling) |
| 16:25～17:05 | サステナビリティの観点から求められるボランティアの姿
日本スポーツボランティアネットワーク 但野 秀信氏 |
| 17:05～17:35 | メガスポーツイベントと人権 ※ビデオメッセージ
Institute for Human Rights and Business
ジョン・モリソン氏 (John Morrison)、ルーシー・エイミス氏 (Lucy Amis) |
| 17:35～17:45 | まとめ |

参加お申込及びお問い合わせについて

参加お申込については、以下のWebお申込フォームよりお願いいたします。

http://jump.cx/sus_event3

(もしくは<https://business.form-mailer.jp/fms/6dd7011a29855>)

お問い合わせは以下までお願いします
経済人コー円卓会議日本委員会 (担当:岡田、鈴木)
お問い合わせフォーム: <http://jump.cx/crtcontact>
電話: 03-5728-6365

